

# 環境報告書

# 2025

第55期 (2024年12月～2025年11月)

株式会社ジャステック



# AGENDA

- 01 環境保全に対する方針
- 02 環境保全活動の概要
- 03 環境保全への具体的取組み
- 04 環境目標と達成状況
- 05 参考資料

## 環境方針

当社は、環境の保全が経営上の重要な責務と認識し、環境パフォーマンスを向上するために、環境保全活動を継続的かつ計画的に推進します。

### 1. 環境に配慮した事業の推進

- ① ソフトウェア開発および保守の全活動において、省エネ・省資源の推進、廃棄物の削減、汚染の予防、持続可能な資源の利用、気候変動の緩和及び気候変動への適応、生物多様性及び生態系の保護など、環境保護に努めます。
- ② 環境関連の法規制および当社が同意したその他の要求事項を遵守します。
- ③ 環境に配慮したソフトウェア開発、業界全体への環境貢献の推進、社会貢献活動への取り組みを推進します。

### 2. 環境目標の設定と継続的改善

- ① 当方針遂行のための環境目標を年度毎に見直し設定します。
- ② 経営者による見直しや内部監査等を通じて環境マネジメントシステムの改善と環境パフォーマンスの向上に努めます。

制定日 2005年 10月26日

改訂日 2019年 12月01日

代表取締役社長執行役員 村中 英俊

## 環境マネジメントシステム

当社は、ISO14001に準拠した環境マネジメントシステムのもと、計画的かつ継続的に環境保全活動に取り組んでいます。

## EMS沿革

- 2004/06 EMS運用開始
- 2005/01 ISO14001認証取得
- 2016/12 2015版対応開始
- 2018/01 2015版に移行

## 環境に関する社内教育

教育名	対象者	内容
環境基礎教育(初回)	新入社員・中途入社	当社の環境への取り組み
環境基礎教育(改訂)	全従業員	環境目標や社会的動向
協力会社社員向け教育	構内常駐社員	当社の環境への取り組み
環境監査員教育	内部監査員	内部監査に関する知識
環境規格教育	新任事務局員	ISO規格

## 当社の環境保全活動

### 省エネルギー

電力削減目標を設定しモニタリング

### 省資源

コピー用紙削減とグリーン購入推進

### 廃棄物削減

紙ごみの分別回収・溶解リサイクル

### 環境配慮設計

ソフトウェア開発での環境チェック



## 地球環境への貢献

### CO2排出量削減

電力使用に伴うCO2低減活動

### 社会貢献活動

赤十字社・自然保護基金への寄付

### 業界活動参加

JISA低炭素化計画

### 環境情報開示

環境報告書の公開・Scope3算定

当社では、環境への配慮活動として、大別すると以下の三つの活動を行っております。

- ① システム受注段階における環境に関する法規制外に対する配慮  
法規制が未整備な環境問題も想定し、法律の規制を超えて配慮することです。環境問題としての潜在的リスクを事前に検証し、重大と判断した場合は受注を拒否するとともに、顧客や関係機関へ規制の必要性を訴えていく活動を言います。
- ② システム開発段階における環境に関する法規制内に対する配慮  
受注したシステムの開発から運用までの各段階において、法規制内の環境問題に配慮することです。運用時のアウトプットを法規制内に抑える仕組みを機能設計・運用設計に組み込み、あわせて開発プロセスの環境負荷低減や、使用エネルギー・資源量の削減にも取り組みます。
- ③ その他事業活動全般におけるオフィス活動の環境への配慮  
当社の事業活動全体を通じて、電力や紙の使用を抑え、紙・ごみ・電気の削減を進めるとともに、グリーン購入やリサイクル品の利用を促進する活動を言います。



## サステナビリティ基本方針

### ESG経営の推進と持続可能な社会の実現に貢献

当社は、従業員・IT業界・社会との良好な関係を重視して企業行動憲章を定め、倫理観ある持続的な価値創造を進めてきました。この憲章を基盤としたサステナビリティ基本方針のもと、本業を通じて地球環境と社会の繁栄に貢献していきます。

サステナビリティ基本方針の内容は、当社ホームページをご覧ください。

## 業界の環境活動への参加

### JISA低炭素化社会実行計画への参加・フォローアップ調査回答

2014年から、JISAの低炭素化社会実行計画に参画しています。

## グローバルな環境情報の開示

### EcoVadisへの登録

国際的な企業評価サービスであるEcoVadisに登録し、環境活動について開示しています。

## 社会貢献活動

### 日本赤十字社医療センター・ 日本経団連自然保護基金への寄付

環境保全活動を含めた社会貢献活動の一環として、昨年に引き続き、寄付を行いました。

# 環境にかけたお金と効果(55期)

## 環境保全コスト (2024/12~2025/11)

単位:百万円

分類	主な取組	前期	当期	増減
(1) 事業エリア内	紙ゴミ溶解リサイクル	0.48	0.70	+0.22
(2) 上・下流	グリーン購入推進	0	0	0
(3) 管理活動	ISO14001 EMS運用	2.08	1.46	-0.62
(4) 研究開発	環境配慮設計	0.005	0.01	+0.005
(5) 社会活動	環境団体への寄付	1.00	1.00	0
(6) 環境損傷	—	0	0	0
合計		3.56	3.17	-0.39

環境保全コスト

**3.17**百万円

経済効果合計

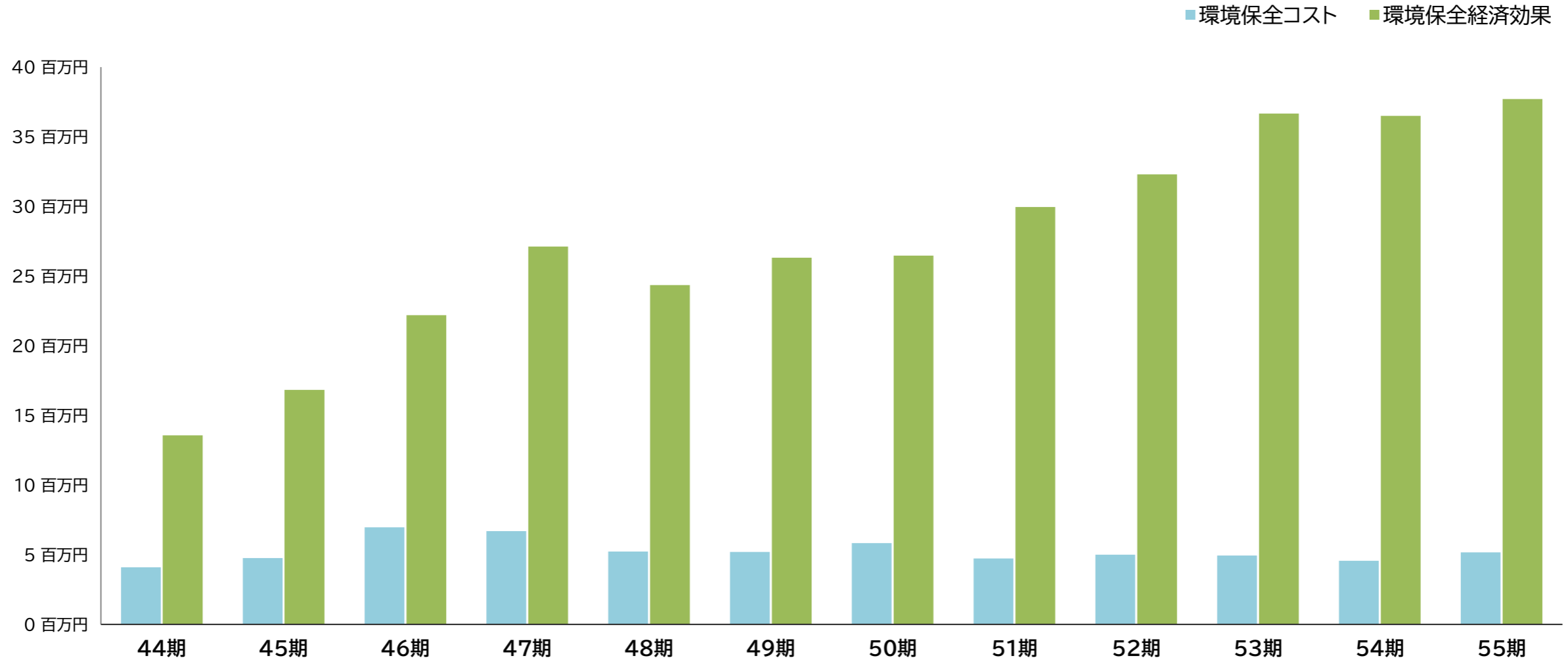
**37.71**百万円

効果とコストの差

**32.53**百万円



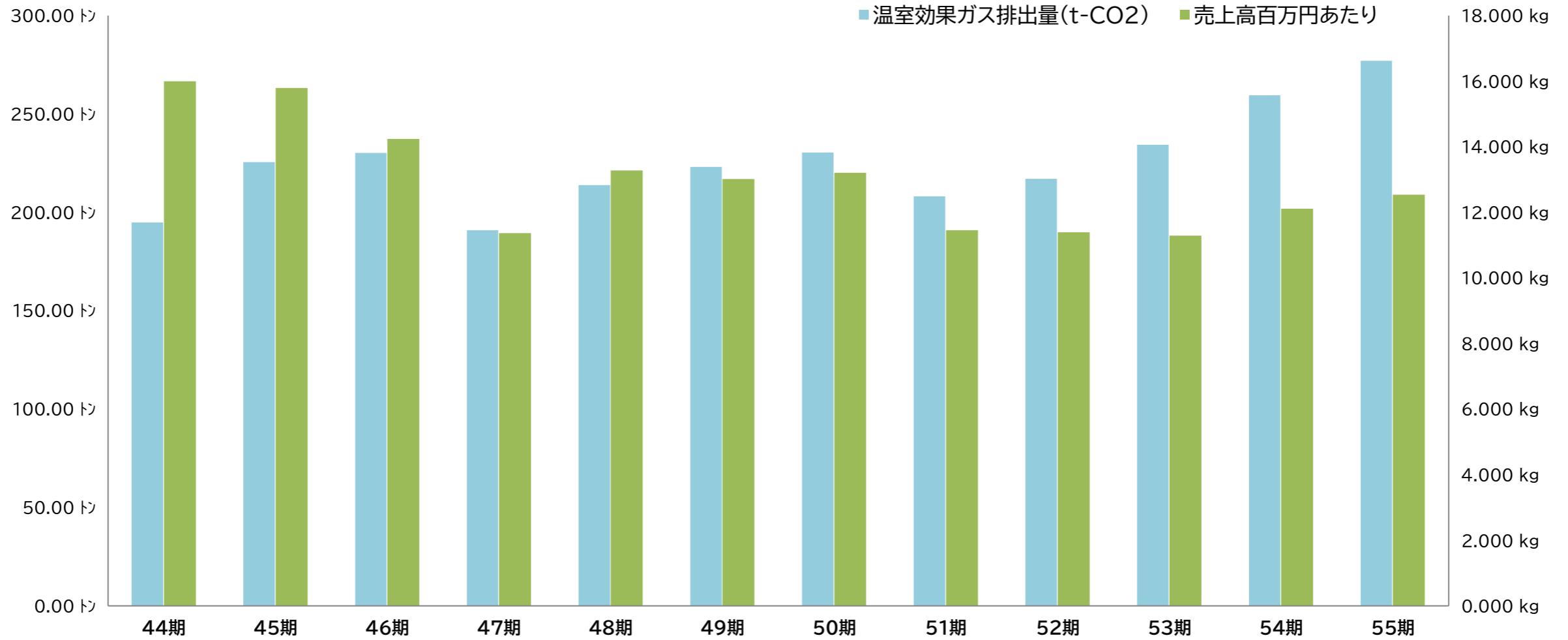
### 環境保全コストと環境保全経済効果の比較



ひとことメモ

44期以降、環境経済効果は右肩上がり。55期は37.7百万円で過去最高。

### 温室効果ガス排出量(t-CO2)



ひとことメモ

業務拡大に伴い温室効果ガス排出量は増加傾向ですが、売上高に対する比率は改善傾向です。

# サプライチェーン排出量(55期)

スコープ	カテゴリ	名称	53期	54期	55期
Scope1	—	事業者自らによる温室効果ガスの直接排出	—	—	—
Scope2	—	他社から供給された電気・熱・蒸気の使用に伴う間接排出	276.44	201.12	171.04
Scope3	1	購入した製品・サービス	8.91	20.07	16.71
	2	資本財	987.63	618.65	245.40
	3	Scope1,2に含まれない燃料及びエネルギー関連活動	13.26	14.27	14.65
	4	輸送、配送(上流)	13.49	13.46	12.96
	5	事業から出る廃棄物	11.53	6.42	1.57
	6	出張	113.60	139.74	159.66
	7	雇用者の通勤	219.36	241.43	310.57
	8	リース資産(上流)	—	—	—
	9	輸送、配送(下流)	—	—	—
	10	販売した製品の加工	—	—	—
	11	販売した製品の使用	—	—	—
	12	販売した製品の廃棄	—	—	—
	13	リース資産(下流)	—	—	—
	14	フランチャイズ	—	—	—
	15	投資	—	—	—
—	—	その他	—	—	—

※当社およびサプライチェーンからのCO2排出が無い、または 無視できると考えられる項目は、「—」としております。

# 環境目標と達成状況(55期および56期)

## 環境目標

No.	環境目標	55期目標	達成状況
1	教育および訓練の実施	EMS関連教育・訓練の実施	入社時教育・IBT研修を実施
2	環境報告書の作成公開	年次で環境報告書を公開	2026年4月にHP公開
3	環境目標の設定と達成	目標を設定しモニタリング	四半期ごとに取締役会に報告
4	維持管理活動の継続	電力6.00kwh/m <sup>2</sup> 等	電力6.32(未達成)・他3項目達成
5	業界貢献	JISA計画参加・基金支援	アンケート回答・寄付実施
6	環境活動の広報	ESG観点で広報推進	検討中

## 部署別環境目標

No.	部署	55期目標	達成状況
1	事業企画本部	環境寄与IT案件の獲得	受注拡大に取り組んだ
2	エンジニアリング事業本部	環境保護活動・データ収集	評価票を毎週提出
3	総務人事部	EMS事務局運営	環境データ収集を推進
4	情報システム部	環境負荷軽減・効率化	設計4件・リリース3件チェック
5	技術革新部	物理資産の削減	PC・サーバ・紙媒体撤廃
6	契約管理部	ペーパーレス化推進	閾値以内で達成
7	品質管理部	目標達成・維持管理	実績監視・削減に努めた
8	監査室	環境監査数値目標	効率36.0件/百万円 達成

**ひとつことメモ** 今後も環境目標を維持しながら、NTTデータグループとの連携をさらに深めつつ、EMSとの整合を図っていきます。

# 参考資料 | 環境会計の推移 34期～43期

当社が環境マネジメントシステムの運用を開始してから  
今年度までの『環境会計』の推移をご報告します。

環境保全コスト : 環境保全のために投入した投資額と費用(貨幣単位)の推移  
 環境保全経済効果 : 環境保全に対する経済効果(貨幣単位)の推移  
 環境保全量的効果 : 環境保全に対する量的効果(物量単位)を把握するための環境パフォーマンス指標の推移

単位:百万円

環境  
保全  
コスト

分類	主な取組の内容	34期	35期	36期	37期	38期	39期	40期	41期	42期	43期
事業エリア内コスト											
公害防止コスト	-										
地球環境保全コスト	-										
資源循環コスト	ビル管理会社の分別廃棄への協力 紙ごみの溶解処理(リサイクル)	-	3.34	1.86	2.25	2.20	2.50	2.50	1.73	1.94	1.46
上・下流コスト	グリーン購入の推進	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
管理活動コスト	ISO14001に基づく環境マネジメントシステムの構築と運用	-	6.43	4.08	5.17	1.69	2.07	2.87	3.45	1.73	2.73
研究開発コスト	ソフトウェア開発における環境配慮設計	-	1.94	1.55	0.46	0.08	0.22	0.05	0.06	0.02	0.03
社会活動コスト	環境保全団体等への寄付	-	0.50	0.00	0.50	0.50	1.00	1.00	1.70	1.00	1.00
環境損傷対応コスト	-										
	合計	0.00	12.21	8.96	8.39	4.48	5.80	6.42	6.93	4.69	5.22

環境  
保全  
経済  
効果

効果の内容		34期	35期	36期	37期	38期	39期	40期	41期	42期	43期	
環境保全対策に伴う経済効果 (当社の経済効果)	収益	(特に無し)										
	費用節減	電力消費量の削減	0.16	2.10	3.58	4.99	5.21	0.11	1.04	2.20	2.89	6.28
		コピー用紙購入の削減	0.11	0.47	1.60	2.07	2.25	1.55	1.40	1.27	1.72	2.25
環境保全効果の経済価値評価 (社会全体の経済効果)	事業活動に投入する資源に関する 環境保全効果(投入資源削減に伴う CO2排出回避額)	事務用品購入の削減			0.66	2.01	3.94	2.88	2.43	2.44	1.28	1.30
		電力消費量の削減	0.02	0.32	0.54	0.75	0.79	0.02	0.16	0.33	0.44	0.95
		コピー用紙購入の削減	0.02	0.09	0.31	0.40	0.43	0.30	0.27	0.24	0.33	0.43
	グリーン購入法適合品購入	0.00	0.01	0.02	0.02	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	
事業活動から排出する環境負荷 及び廃棄物に関する環境保全効果	廃棄物削減による回避額	0.00	0.00	0.00	0.27	0.31	0.03	0.18	0.18	0.25	0.34	
	事業活動から産出する財・サービスに 関する環境保全効果	開発システムの環境貢献額 ※詳細測定方法検討中										
	合計	0.31	3.00	6.72	10.50	12.94	4.89	5.48	6.67	6.92	11.56	

効果とコストの差	0.31	△ 9.21	△ 2.24	2.12	8.46	△ 0.91	△ 0.93	△ 0.25	2.24	6.34
----------	------	--------	--------	------	------	--------	--------	--------	------	------

# 参考資料 | 環境会計の推移 44期～55期

当社が環境マネジメントシステムの運用を開始してから  
今年度までの『環境会計』の推移をご報告します。

環境保全コスト : 環境保全のために投入した投資額と費用(貨幣単位)の推移

環境保全経済効果 : 環境保全に対する経済効果(貨幣単位)の推移

環境保全量的効果 : 環境保全に対する量的効果(物量単位)を把握するための環境パフォーマンス指標の推移

単位:百万円

環境  
保全  
コスト

分類	主な取組の内容	44期	45期	46期	47期	48期	49期	50期	51期	52期	53期	54期	55期
事業エリア内コスト													
公害防止コスト	-												
地球環境保全コスト	-												
資源循環コスト	ビル管理会社の分別廃棄への協力 紙ごみの溶解処理(リサイクル)	1.90	2.14	1.86	1.46	1.16	0.87	0.92	0.76	0.68	1.26	0.48	0.70
上・下流コスト	グリーン購入の推進	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	2.00
管理活動コスト	ISO14001に基づく環境マネジメントシステムの構築と運用	1.19	1.59	3.73	3.41	3.00	2.86	2.95	2.69	3.13	2.48	2.08	1.46
研究開発コスト	ソフトウェア開発における環境配慮設計	0.00	0.04	0.38	0.83	0.07	0.48	0.96	0.29	0.19	0.20	0.01	0.01
社会活動コスト	環境保全団体等への寄付	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
環境損傷対応コスト	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	合計	4.10	4.76	6.96	6.70	5.23	5.21	5.83	4.74	5.00	4.94	4.56	5.17

環境  
保全  
経済  
効果

効果の内容		44期	45期	46期	47期	48期	49期	50期	51期	52期	53期	54期	55期	
環境保全対策に伴う経済効果 (当社の経済効果)	収益	(特に無し)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	費用節減	電力消費量の削減	7.67	9.18	12.06	15.73	13.04	14.17	14.22	16.91	17.81	19.54	19.00	18.98
		コピー用紙購入の削減	2.67	3.23	3.83	4.19	4.05	4.40	4.58	4.96	5.19	5.75	5.96	6.09
		事務用品購入の削減	1.16	1.92	3.14	3.37	3.87	4.05	3.93	3.83	4.82	6.49	6.56	7.64
環境保全効果の経済価値評価 (社会全体の経済効果)	事業活動に投入する資源に関する 環境保全効果(投入資源削減に伴う CO2排出回避額)	電力消費量の削減	1.16	1.39	1.82	2.38	1.97	2.14	2.15	2.56	2.69	2.95	2.87	2.87
		コピー用紙購入の削減	0.51	0.62	0.74	0.80	0.78	0.84	0.88	0.95	0.99	1.10	1.14	1.17
		グリーン購入法適合品購入	0.02	0.02	0.02	0.02	0.01	0.02	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
	事業活動から排出する環境負荷 及び廃棄物に関する環境保全効果	廃棄物削減による回避額	0.39	0.48	0.58	0.63	0.63	0.70	0.70	0.74	0.80	0.82	0.94	0.95
	事業活動から産出する財・サービス に関する環境保全効果	開発システムの環境貢献額 ※詳細測定方法検討中	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	合計	13.57	16.83	22.19	27.12	24.36	26.32	26.47	29.96	32.31	36.67	36.49	37.71	


効果とコストの差	9.47	12.07	15.22	20.42	19.13	21.11	20.64	25.22	27.31	31.73	31.93	32.53
----------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

34期～43期

環境保全効果の分類	環境パフォーマンス指標(単位)	33期(基準年)	34期	35期	36期	37期	38期	39期	40期	41期	42期	43期
事業活動に投入する資源に関する環境保全効果	総エネルギー投入量(MJ)	2,606,659 MJ	2,455,672 MJ	2,491,996 MJ	2,690,474 MJ	2,719,008 MJ	2,761,297 MJ	2,375,892 MJ	1,874,311 MJ	1,699,027 MJ	1,877,101 MJ	1,703,243 MJ
	売上高百万円あたり	243.045 MJ	240.752 MJ	216.695 MJ	203.932 MJ	192.265 MJ	191.146 MJ	241.379 MJ	225.007 MJ	204.850 MJ	198.951 MJ	158.787 MJ
	資源投入量(t)	22.49 トン	20.61 トン	20.65 トン	15.92 トン	14.53 トン	13.80 トン	9.30 トン	7.20 トン	8.10 トン	7.17 トン	6.00 トン
	売上高百万円あたり	2.097 kg	2.021 kg	1.796 kg	1.207 kg	1.027 kg	0.955 kg	0.945 kg	0.865 kg	0.977 kg	0.760 kg	0.559 kg
事業活動から排出する環境負荷及び廃棄物に関する環境保全効果	温室効果ガス排出量(t-CO2)	273.70 トン	257.85 トン	261.66 トン	282.50 トン	285.50 トン	289.94 トン	249.47 トン	196.80 トン	178.40 トン	197.10 トン	178.84 トン
	売上高百万円あたり	25.520 kg	25.279 kg	22.753 kg	21.413 kg	20.188 kg	20.070 kg	25.345 kg	23.626 kg	21.509 kg	20.890 kg	16.673 kg
	廃棄物等総排出量(t)	18.20 トン	18.08 トン	25.48 トン	22.22 トン	14.04 トン	12.80 トン	15.71 トン	7.53 トン	7.48 トン	6.56 トン	5.42 トン
	売上高百万円あたり	1.697 kg	1.773 kg	2.215 kg	1.685 kg	0.993 kg	0.886 kg	1.596 kg	0.904 kg	0.902 kg	0.695 kg	0.505 kg
事業活動から産出する財・サービスに関する環境保全効果	使用時のエネルギー使用量(J)											
	使用時の環境負荷物質排出量(t)						(4.93トン削減)	(0.33トン削減)	(0.32トン削減)	(0.30トン削減)	(1.37トン削減)	(1.51トン削減)
	廃棄時の環境負荷物質排出量(t)											
その他の環境保全効果	(特に無し)											

44期～55期

環境保全効果の分類	環境パフォーマンス指標(単位)	44期	45期	46期	47期	48期	49期	50期	51期	52期	53期	54期	55期
事業活動に投入する資源に関する環境保全効果	総エネルギー投入量(MJ)	1,855,422 MJ	2,147,512 MJ	2,191,846 MJ	1,818,198 MJ	2,036,646 MJ	2,124,137 MJ	2,194,636 MJ	1,982,146 MJ	2,066,737 MJ	2,231,826 MJ	2,471,450 MJ	2,638,549 MJ
	売上高百万円あたり	152.343 MJ	150.428 MJ	135.600 MJ	108.233 MJ	126.437 MJ	123.979 MJ	125.753 MJ	109.065 MJ	108.473 MJ	107.496 MJ	115.337 MJ	119.391 MJ
	資源投入量(t)	6.02 トン	6.32 トン	5.82 トン	4.53 トン	4.12 トン	3.72 トン	3.06 トン	1.81 トン	1.99 トン	1.42 トン	1.30 トン	1.72 トン
	売上高百万円あたり	0.494 kg	0.442 kg	0.360 kg	0.269 kg	0.255 kg	0.217 kg	0.175 kg	0.100 kg	0.104 kg	0.069 kg	0.061 kg	0.078 kg
事業活動から排出する環境負荷及び廃棄物に関する環境保全効果	温室効果ガス排出量(t-CO2)	194.82 トン	225.49 トン	230.14 トン	190.91 トン	213.85 トン	223.03 トン	230.44 トン	208.13 トン	217.01 トン	234.34 トン	259.50 トン	277.05 トン
	売上高百万円あたり	15.996 kg	15.795 kg	14.238 kg	11.364 kg	13.276 kg	13.018 kg	13.204 kg	11.452 kg	11.390 kg	11.287 kg	12.110 kg	12.536 kg
	廃棄物等総排出量(t)	6.12 トン	6.38 トン	5.98 トン	5.04 トン	4.02 トン	2.82 トン	3.41 トン	3.10 トン	2.66 トン	4.72 トン	1.42 トン	2.14 トン
	売上高百万円あたり	0.503 kg	0.447 kg	0.370 kg	0.300 kg	0.249 kg	0.165 kg	0.195 kg	0.171 kg	0.140 kg	0.227 kg	0.066 kg	0.097 kg
事業活動から産出する財・サービスに関する環境保全効果	使用時のエネルギー使用量(J)												
	使用時の環境負荷物質排出量(t)	(1.51トン削減)	(0.0004トン削減)	(0.0009トン削減)	(0.0004トン削減)	(0.0000トン削減)	(0.0000トン削減)	(0.0000トン削減)	(0.0000トン削減)	(0.0000トン削減)	(0.0000トン削減)	(0.0000トン削減)	(0.0000トン削減)
	廃棄時の環境負荷物質排出量(t)												
その他の環境保全効果	(特に無し)												



# 株式会社ジャステック 環境報告書 2025

作成者: 経営戦略本部 経営企画部

発行日: 2026年5月1日

次回発行予定: 2027年5月

連絡先: 総務人事部 総務課

〒108-0074 東京都港区高輪3-5-23

TEL: 03-3446-0295

E-mail: [info@jastec.co.jp](mailto:info@jastec.co.jp)

URL: <https://www.jastec.co.jp/>